

第5回世界電気通信/ICT政策フォーラム専門家グループ会合 (IEG-WTPF-21) 結果概要

総務省 国際戦略局 やまぐち のりふみ
国際政策課 山口 典史

総務省 国際戦略局
国際政策課

おざわ りょうじ
小澤 亮二

総務省 国際戦略局 おおつき めみこ
国際政策課 大槻 芽美子

1. IEG-WTPF-21概要

世界電気通信/ICT政策フォーラム (WTPF) は、電気通信環境の変化に伴う規制・政策問題を世界規模で検討することを目的とし、1994年のITU全権委員会議における日本提案に基づき設置されたフォーラムであり、2021年に第6回会合 (WTPF-21) をジュネーブにて開催することが2018年全権委員会議で決議された。当初2021年4月に開催の予定であったが、COVID-19の影響により日程が変更され、2021年12月16～18日の3日間、ジュネーブにて開催の予定となっている。WTPFでは規制に関わる文書を作成することはしないが、コンセンサスにより事務総局長レポートとオピニオン文書が採択される。また、会合に先立ち6回の専門家会合 (IEG-WTPF-21) が実施される予定となっており、今回が第5回目となる。

第5回IEG-WTPF-21会合は2021年5月31日～6月2日の3日間にわたってリモートで開催され、ITU構成国及びセクターメンバーのほか、市民団体、学術界などから約70名が参加した。日本からは総務省国際戦略局国際政策課山口技術協力専門官、小澤課長補佐及び大槻主査が出席した。

2. 第5回IEG-WTPF-21議論の結果

2.1 事務総局長レポート案

事務総局長レポートは、IEG-WTPF-21で出された意見を反映し、WTPF-21において議論すべき内容をまとめたものとなっている。本レポートについては議論の対象を「新興電気通信/ICT」または「新興デジタル技術とトレンド」のどちらかで記載するかで意見が分かれており、4回の準備会合を経ても結論が出なかったことから、本件に関するアドホック議長 (イラン) より、今回の会合に再度妥協案が提案されていた。

妥協案は「新興デジタル技術とトレンド」の用語について、電気通信/ICTに関連しない技術を含む可能性があるとの懸念を解消するため、「電気通信/ICTに関連する新興デジタル技術とトレンド (new and emerging technology pertaining to telecommunications/ICT)」という用語に変更することで明確化している。本提案については、おおむね合意を得たが、英国が「電気通信/ICTを支える新興デジタル技術とトレンド (new and emerging technology that support telecommunications/ICT)」とすべきと提案し、南アフリカが“relevant to”も候補として加えるべきと発言したことから、“pertaining to”、“that support”、“relevant to”のどれを採用するかという議論に焦点が当てられた。

結論は出ず、次回会合でさらに意見を求めることとなった。

2.2 オピニオン案

オピニオン案については前回会合で提出された10件のテーマのうち類似のものを統合するよう議長が指示したことから、ブラジルを中心としたレスポンスグループにおいて議論された結果として、以下の6件のテーマ及びドラフト文書が提案された。

1. 持続可能な開発を進めるための、新たな接続ソリューションの開発と展開に向けた環境整備 (Enabling environment for the development and deployment of new and emerging connectivity solutions to advance sustainable development)
2. 持続可能な開発のための接続性 (Connectivity for sustainable development)
3. 包括的アクセスのためのデジタルリテラシーとスキル (Digital literacy and skills for inclusive access)
4. 持続可能な開発のための電気通信/ICT利用を促進する新技術とサービス (New technologies and services to facilitate the use of telecommunications/ICTs for sustainable development)
5. 新興電気通信/ICT時代におけるトラスト (Trust in the era of new and emerging Telecommunications/ICTs)
6. パンデミックへの準備と対応における電気通信/ICTの利用 (Use of telecommunications/ICTs in pandemic preparedness and response)

一方で、今次会合も含めあと2回しか準備会合が開催されない中、進捗に懸念があるとして、英国が、今回の会合は①COVID-19、②スキルとデジタルインクルージョン、③イネイプリングな環境、の3つにテーマを絞ることで各オピニオンのテキストに合意すべきとの意見を提出し、①については英国が、②については英国及び米国が、③については米国が具体的なテキストの草案を提出していた。これに対しサウジアラビア、ロシア、エジプト、南アフリカが、ブラジル案を基にパッケージで議論すべきと主張し、英国、米国のテキスト案を反映しつつ6つのオピニオン案についてドラフティングが進められた。それぞれのオピニオン案で合意の得られない部分については、次回の準備会合にて継続して議論することとなった。

3. 今後の予定

次回のIEG-WTPFは2021年9月21日開催の予定だが、議長より、議論の状況によっては会合を1回追加したいとの提案があった。日程等については後日調整する。議論の結果を反映した事務総局長レポート及びオピニオンの草案は2021年7月1日に公表される。